

たトライアスロンは距離を短く三週間休んでトレーニング

大会では出場者が一斉にスレースが続いた。順位が分か

「

江 鯖

空中田植えに挑戦

かたかみ 春たんぼ 文殊フォーラムも

文殊の里のユニークな春まつり「鯖江かたかみ春たんぼ

津町吉崎の蓮如忌

で活気



91(福井新聞社後援)は二十九日、鯖江市片上地区で開かれた。文殊山登山をメインイベントに、地域おこしを考える「文殊フォーラム」、空中田植え、歌謡ショー、大抽選会など多彩な催しが繰り広げられ、約八千人の人出で終日にぎわった。

自分の町の紹介、地域おこしの取り組みなどを発表。地域おこしについて持つ知恵を出し合い、活用させるネットワークづくりが必要など地域の活性化策について話し合い、文殊フォーラムを今後も続け、地域間の輪を広げたいこうと申し合わせた。

午前九時半から、オープニングセレモニー。関係者がテープカットした後、地区の子供たちが願い事を書いた風船五百個を空に放ち、イベントの幕を開けた。県警プラスパンドを先頭に登山者らは登山口までパレード。山の緑を染しもうと、家族連れや若いカップルなど約二千人が霊峰として名高い文殊山の頂上を目指した。

午後からは「空中田植え」が片上公民館横の田んぼで行われた。参加者はコシヒカリの土つき苗を空中にほうり投げて行う田植えに初挑戦。風変わりな田植え法に子供たちも大喜びで、歓声を上げながら次々と苗を投げ上げていた。

会場には、名物となったタニシ田楽やカモ汁、ねはんだ

「かたかみ」だった」と苦しいレースが続いた。順位が分かるなど食べ物のお店がスラリ並び、歌謡ショーを楽しみながら木陰で味わう家族連れの姿もみられた。

化田木無償
みどりの週間にちなんで「みどりの日」の二十九日、三国町中央公園で緑化苗木の無料配布と緑化木の即売会、



ユニークな田植え法「空中田植え」を楽しむ親子連れ

長と朝、破をり、ア、者に、協組、木二、格で、緑化、会員、庭木の、を分、推進、会、リン、緑と水、呼び掛